

2022 年度長野県植物研究会活動報告

大塚 孝一 *

大会・例会の開催

2020 年度、2021 年度は新型コロナウイルスの影響で大会及び例会が中止されたが、2022 年度は通常 6 月に実施していた大会・例会を、10 月 1 日・2 日にオンラインで大会及び懇親会を、例会を現地で参加者を限定して行った（実施状況は大会・例会報告を参照）。

総会

2022 年度は総会の開催が出来ない場合を考えて、6 月の研究会誌発送に合わせて、事業報告・決算書、事業計画・予算書等種類を同封し、議決については異議や意見等がある場合に返信していただく形にて、一応の了承がされた。幸い 10 月にオンラインで大会が開催されたので、併せて実施した幹事会及び総会において正式に了承された。次期役員の改選については総会において、留任が了承された。

長野県植物研究会誌 55 号の発行

2022 年 6 月 1 日に 55 号を発行した。研究論文等 32 編、研究会活動報告等 2 編を含む全 236 ページで、年々充実している。多くの会員に気軽に投稿していただき、研究成果が多数発表されることを期待したい。会員に配布するほか、国立国会図書館へ納本し、県立長野図書館等の図書館、博物館等関係機関の 60 団体へ寄贈した。研究会誌のバックナンバーを希望の方は、大塚 (kootsu51@yahoo.co.jp) までお問い合わせいただけたら、研究会口座へ内容を記入し冊子代及び送料をご納入ください。20 号から 39 号までは 1 部 1000 円、40 号以降は 2000 円、55 号以降は 2500 円、送料別（3 冊まで 370 円）

で配布可能です。欠品の場合はコピーとなります。

会員数

会員数は、2022.3 月 29 日現在で 144 名。会の維持のため会員増に期待。

学術刊行物認可について

長野県植物研究会誌は第 18 号（1985）から郵政省指定の「学術刊行物」としての認可を受け、郵送料の優遇措置を受けてきた。認可申請にあたっては、故清水建美会長らが会の目的を「長野県の植物研究者の親ぼくと向上をはかる」から「植物学の進歩と普及をはかる」と変更するなどして、地道な努力をしてきた。もともと学術雑誌であったものをさらに向上することを目指した。55 号の送付時に学術刊行物指定が外れていることが判明し、送料が余計にかかる事態になったが、指定が外れた理由については定かではないが再認定の申請を行い、現在認可を待っている状況。

長野県植物誌改訂のための活動

コロナ禍で思うような活動ができない状況だが、主に標本やデータ収集活動を行っている。植物誌の改訂は会員総参加を目指しているので資料収集などにご協力いただければありがたい。また、執筆したい、取り組んでみたい分類群がありましたら、委員会事務局（藤田、千葉、大塚、尾関）あてお知らせください。分類群の執筆の仕様は、会誌 55 号や本号に藤田他の「長野県植物誌パイロット版」の中で記述されているので、参照されたい。

* 大塚 孝一（副会長・庶務）
長野市長野市 kootsu51@yahoo.co.jp